

○「TauT 阪急洛西口」第3期エリアの計画概要について

- 計画地 京都市西京区川島六ノ坪町 10-2 ほか
- 敷地面積 約 6,234 m²（高架下全体の敷地面積は約 11,200 m²）
- 延床面積 約 1,103 m²（高架下全体の延床面積は約 3,322 m²）
- 構造・階数 鉄骨造・地上1階
- 設計・監理 阪急設計コンサルタント株式会社
- 施工 株式会社イチケン
- 駐車場（コインパーキング） 計43台
駐車場運営会社 株式会社コンセプト



「TauT 阪急洛西口」開発エリアの位置図

○「TauT 阪急洛西口」について

「TauT 阪急洛西口」は、阪急京都線・洛西口駅付近の連続立体交差化事業（鉄道高架化）により生み出された総延長約1km、敷地面積約11,200 m²の高架下空間です。2015年12月に阪急電鉄と京都市との間で、京都市西京区エリアのまちづくりに関する包括的な連携協定が締結され、それ以降、街の魅力を高め、「訪れたい」「新たに住みたい」「将来にわたって住み続けたい」と思っただけのエリアを目指して順次開発を進めてきました。

今回の第3期エリアの完成により、「TauT 阪急洛西口」は全体開業を迎え、鉄道高架化により新たにできた高架下空間に、物販やサービス・飲食店などの店舗や施設が軒を連ねることになります。

洛西口駅では、開業した2003年の1日あたりの乗降人員は約6,000人でしたが、2019年には約13,000人となり、年月を重ねるごとに賑わいを増してきました。今後も、継続して賑わいのあるエリアとなることを目指し、地域の方々と連携を図りながら様々な活動に取り組んでまいります。

■開発コンセプト

「行きたい 住みたい KYOTO 洛西口
～ヒトとヒトをつなぐ エキはマチの縁側（えんがわ）～」

■名称、ロゴマーク

ペアで連なる高架の柱を表すTとTがつくる高架下空間で、人と人が会う（au）ことを表現。英単語の「taught（teachの過去分詞形）」の響きを連想し、「教えあう、学びあう」エリアにしたいという願いも込めています。

また、シンボルカラーは空色。高架下からふと見上げた時に見える空の色をイメージしています。



■公式アカウント

- ・ホームページ : <https://taut-rakusaiguchi.com/>
- ・SNS Twitter : @TauT_rakusai
- Instagram : @taut_rakusaiguchi
- Facebook : トート阪急洛西口



ホームページ



Twitter

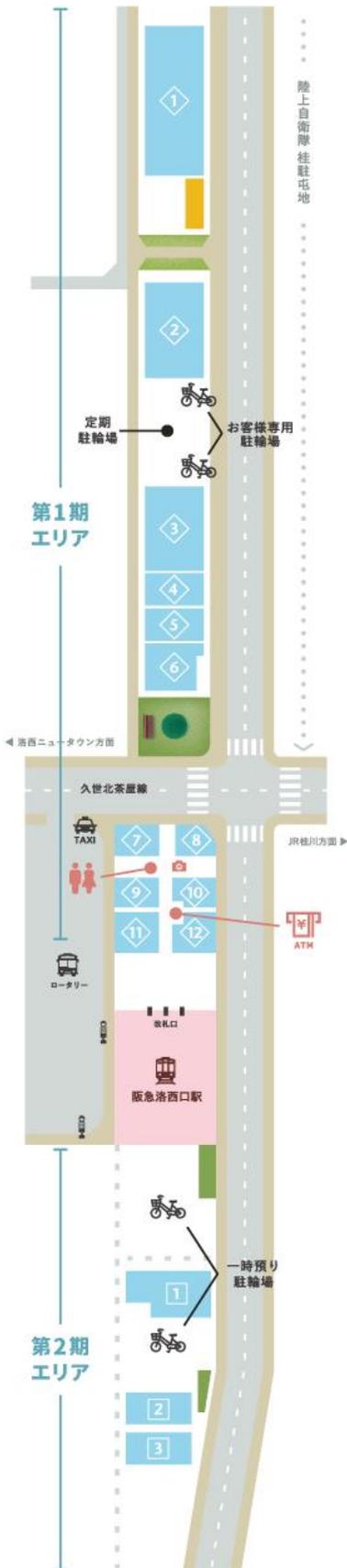


Instagram



Facebook

○第1期エリア・第2期エリアの店舗・施設について (2021年1月14日時点)



【第1期エリア】

■開業日：2018年10月22日

■敷地面積：約 2,838 m²

■延床面積：約 1,522 m²

- ①：サイクルベースあさひ 〈サイクルショップ〉
- ②：プログラボ 〈ロボットプログラミング教室〉
- ③：阪急レンタサイクル 〈レンタサイクル〉
- ④：京都 麺屋たけ井 〈つけ麺・ラーメン〉
- ⑤：ひより 〈パスタ・チーズケーキ〉
- ⑥：巣箱 〈カフェ・ダイニング〉
- ⑦：すいば 〈立ち飲み居酒屋〉
- ⑧：銀の卵 〈たこ焼・お好み焼・焼そば〉
- ⑨：お酒とごはん キラボシ 〈居酒屋〉
- ⑩：クリーニングびいふる 〈クリーニング〉
- ⑪：パティスリー ル・フルティエ 〈ケーキ・洋菓子〉
- ⑫：BAKEHOUSE Mère(ベーカハウス メール) 〈ベーカリー〉
LatteArt Junkies RoastingShop(ラテアート ジャンキーズ
ロースティングショップ) 〈カフェ〉



【第2期エリア】

■開業日：2020年1月29日

■敷地面積：約 1,933 m²

■延床面積：約 697 m²

- ①：フレスコ 〈スーパーマーケット〉
- ②：スクールIE 〈学習塾〉
- ③：エイトアニマルクリニック 〈動物病院・トリミングサロン〉